

平成15年 6月20日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田 良一

広島大学の全面的なバックアップで実現
日本デフレをどう止めるか?
-高校生がアメリカとビデオ会議-

このことについて、別紙のとおり実施されますので、お知らせいたします。

【お問い合わせ先】

広島大学大学院国際協力研究課
助教授 平川 幸子
TEL: (0824) 24-6941
(ダイヤルイン)
E-Mail: hirayuki@Hiroshima-u.ac.jp

[発信枚数; A4版 2枚(本票含む)]

[2](#)

**広島大学の全面的なバックアップで実現
日本のデフレをどう止めるか?
-高校生がアメリカとビデオ会議-**

広島県立安芸府中高等学校は、広島大学の全面的な支援を受け、アメリカ・イリノイ州の高校生との間で、「日本のデフレをどう止めるか」をテーマにビデオ 討論会を行う。

1.概要:

広島県立安芸府中高等学校は、7月16日にアメリカ・イリノイ州のサマース クール国際キャリア・アカデミー(ICA)に参加する65人の高校生との間でテレビ 会議を行う。

「日本のデフレをどう止めるか?」というテーマは、今年のICAの学習課題で、アメリカ側から提案されたものである。日本側では、テーマの難しさと十分な情報環境が整っていないという理由で、はじめ申し出を受けることに躊躇もあった。しかし、広島大学経済学部石田三樹教授(国際金融論)等が高校生たちの事前学習を指導、また本番の会場に光ケーブルの情報通信網が整った東千田キャンパスの施設を提供し、情報メディア教育研究センターの相原玲二教授が技術面で支援と、広島大学が全面的に実施をバックアップすることとなり、実現が可能になった。

日本銀行広島支店も職員を講師に派遣し、高校生たちのチャレンジを応援する。

2.日程:7月16日(水)午前9時～ (シカゴ時間7月15日午後7時～)

3.場所:広島大学東千田キャンパス「わっしょいらボ」

4.参加者:

日本側:広島県立安芸府中高校生10名(オーストラリアからの交換留学生一名を含む)

(県立安芸府中高校は、広島県で唯一の国際科を設置する高等学校である。10名の生徒は、ビデオ会議の舞台で国際性と英語力を磨きたいと参加を志願した。)

アメリカ側:イリノイ州主催「国際キャリア・アカデミー(ICA)」参加高校生65名

(ICAは、21世紀のイリノイ州を担う人材の育成のために、州知事が2001年から始めた事業。シカゴ大学などの支援を受け、高校生が国際社会で実際に起きている問題に取り組む問題解決学習を特色としており、参加者は論文等によって全州内から選ばれる。)

5.事前準備:

6月20日(金)午後2時15分～3時5分 広島大学経済学部石田三樹教授の事前指導

6月27日(金)午後1時20分～3時5分 日本銀行広島支店の方による事前指導

6月30日(月)シカゴ市立ノースサイド高校のジャイルズ先生が打ち合せに

問合せ先:

国際協力研究科 助教授 平川 幸子

電話・FAX:0824-24- 6941 E-mail:hirayuki@hiroshima-u.ac.jp

広島県立安芸府中高等学校国際科 主任 久保田 眞吾

電話:082-282-5311 FAX:082-282-5306